

〈ケア〉を考える会

第88回例会のお知らせ

前回、参加者の感想（facebook より）

■1月26日、部分参加を含め11人集まりました。開始は13時30分。前半は『人はなぜひとを「ケア」するのか』読書会。後半は懇親会。最後の方とサヨナラしたのは、確か、23時半頃だったような。（H）

■昨夜の〈ケア〉を考える会は、システムやマニュアルでなく〈ケア〉を考へること、美味しいご馳走→ビール→梅酒→日本酒→ワイン→焼酎(こがし麦焼酎「おこげ」絶品!)→語り合い→延々と続く、で久しぶりの終電帰りでした\(^o^)/

充電完了で、明日の実習最終日、頑張ります m()m (O)



○日時：2013年3月3日（日）13：30～

○会の前半（読書会）

佐藤幹夫著『人はなぜひとを「ケア」するのか』
第3・4章（岩波書店）

○会の後半（懇親会）

食べながら、飲みながら、語り合います

○参加費：無料（食べ物、飲み物持ち込み歓迎）

○場所：京都市中京区西ノ京内畑町31

GLマンションⅢ-303（林）

「二条」駅（JRまたは地下鉄）より北へ徒歩5～8分

（二条自動車教習所の西隣）

○問合せ・申込：林道也 884michiya@gmail.com TEL.090-5366-1497

○ホームページ：<http://care-kyoto.jimdo.com/>

○どなたでも参加できます。初めての方も歓迎です。



■今後の予定など

(1) 第89回 〈ケア〉を考える会

日時：2013年4月6日（土）13:30～

場所：未定

内容：“花見”を兼ねて

(2) 第36回 認知症介護研究会

日時：2013年2月23日（日）14：00～18：00

場所：キャンパスプラザ京都（会場が変わっています）

報告：佐藤幹夫（フリージャーナリスト）

「高齢者医療・認知症ケアの現場から社会を考える（仮題）」

司会：天田城介（立命館大学大学院先端総合学術研究科）



佐藤幹夫さんのことば

ケアが、合理化と効率化のかけ声のもとでマニュアル化される時、ケアを受ける側の個性や実存は消されていく。マニュアル化でき難いところにこそ、「ケア」の最も重要で本質的なテーマがあるのではないかと